

厳しい残暑が続きますが
『夏バテ』にご注意
予防部予防課より



令和7年8月中の火災分析

- ・8月中に発生した火災は29件で、前年同月と比較して1件の増加でした。
 - ・主な火災原因は、放火（疑念）及び電気機器が各8件、天ぷらなべが3件、たき火が2件、こんろ、たばこ、排気ダクトが各1件などでした。
 - ・電気機器の火災8件のうち、7件がリチウムイオン電池が関連する火災でした。
 - ・建物火災が17件発生し、住宅で8件、飲食店で5件、作業場で3件の火災が発生しました。
- （令和7年中に発生した火災は196件で、前年と比較して24件の増加でした。）

火災原因別

	放火 (疑念)	電気 機器	天ぷら なべ	たき火	たばこ	こんろ	その他	計
件数	8	8	3	2	1	1	6	29

行政区別

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	計
件数	2	1	2	5	0	7	1	2	0	2	7	29

【トピックス】

夏バテ＝夏のバッテリーにご用心！

モバイルバッテリー等のリチウムイオン電池を高温になる環境に放置すると火災の恐れがあります。

○正しく購入する

- ・連絡先が確かなメーカーや販売店から購入する。
- ・リコール対象ではないことを確認して購入し、購入後も常に最新の情報をチェックする。
- ・安価な「非純正バッテリー」が抱えるリスクについて理解する。

○正しく使用する

- ・高温下に放置するなどして熱を与えない。
- ・強い衝撃を与えない。

○正しく対処する

- ・充電・使用時は時々様子を見て、異常を感じたらすぐに充電・使用を中止する。
- ・万が一発火した場合は大量の水で消火し、可能な限り水没させた状態で、119番通報する。

京都市消防局HPへ

★住宅用火災警報器で火災を早期発見！



～急増するリチウムイオン電池
からの火災について～

リチウムイオン電池からの
火災に御注意を！

発行：京都市消防局